

第8回市川市ジュニア短歌祭 市長賞受賞

市川市制施行75周年を記念して開催された、第8回市川市ジュニア短歌祭高校生の部において、金子 奈津希さん(2年)の作品が市長賞に選ばれました。

このほかにも8名生徒が優秀賞を受賞しました。

市長賞

エンターのキーを押すとき手が止まる伝えていいの自分の気持ち

金子 奈津希(2年)

優秀賞

いつもなら軽く流せたはずなのに今日はちがった私の心

堀 弥生(2年)

優秀賞

グラウンド転んだ時の土の味大人になったら忘れるのかな

野萩 祥平(2年)

優秀賞

生きる意味君は意味だけで生きてるのか両親の愛を感じる時間

小笠原 恵美(2年)

優秀賞

未送信中に記したこの気持ち知っているのは僕一人だけ

木村 健力(2年)

優秀賞

緊張のピークをこえて手がふるえ自然とかかる弱ビブラート

篠塚 未帆(2年)

優秀賞

ありふれた言葉なんかじゃ収まらず君に送った空白メール

村上 めい(2年)

優秀賞

この一球周りの音は消えさってボールの音だけ世界を包んだ

檜森 翔太(2年)

優秀賞

風に乗り飛んでいく旅大空へ小さな種が命のバトン

小林 直人(2年)